

気象災害から命を守るために 気象警報が生まれ変わります!!



気象庁では、平成29年出水期から、気象警報の改善を行うこととし、「命に危険を及ぼすような大雨等が予想されるとき、早めに心構えを高めていただけるよう、5日先までの大雨警報等の発表の可能性を[高][中]の2段階で表示」と「警報・注意報の発表時に、いつ危険度が高まるのかを確認できるよう、最大24時間先までの危険度の予想を色分け表示」の提供を5月17日から開始しました。

また、7月中にはこれまで大雨・洪水警報等の発表基準に用いてきた雨量に代えて、災害発生との結びつきが強い「指数」（土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数）を用いるようにします。これにより、地域の災害特性を一層考慮した、よりの確な警報・注意報を提供します。また、大雨・洪水警報が発表されたときに、どこで実際に危険度が高まっているのかを地図上に色分け表示します。例えば、「洪水警報の危険度分布」では、中小河川の急激な増水による危険度の高まりも実際に水位が上昇するより前の早い段階から確認できるようになります。

これらの改善した情報は、気象庁ホームページでご覧いただけるようになります。警報・注意報等が発表されたときには、いつ・どこで災害発生の危険度が高まると予想されているのかを確認し、早めの安全確保行動を心がけてください。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話：0162-23-2679

地域おこし協力隊通信

vol.20

地域の皆さん、気温が暖かくなり気持ちよく過ごされていますか。地域おこし協力隊の若月です。

地域おこし協力隊の企画したイベント、『テシオコザクラ観察会』を6月3日(土)に開催しました。『テシオコザクラ観察会』の参加定員は20名なのですが、募集をかけると数日で定員になり、テシオコザクラやオゼソウ(テシオソウ)に対する関心の高さが感じられました。参加者の中には「東京都」「長野県」「滋賀県」からの参加者もあり、幌延町に来ていただいたことをうれしく思います。

当日は、雨模様で気温は6℃という寒空の下、テシオコザクラ群生地を目指し出発しました。入林口から目的地までは約1650mの山道を歩いて行くのですが、途中で2カ所川を横断する場所では皆さんで手を取り合い、無事テシオコザクラ群生地に到着しました。テシオコザクラとオゼソウ(テシオソウ)の花は満開で、各自で花を観察したり、撮影されたり楽しんでいただいたと思います。



今回の『テシオコザクラ観察会』ですが、北海道大学天塩研究林の職員皆様のご協力が無ければ開催することができませんでした。ご協力ありがとうございます。

私が幌延町に来て1年5カ月経ちましたが、幌延町には魅力的な資源がたくさんあると感じています。これからは多くの方に魅力を知っていただくために情報発信していきたいと思います。